



# 赤平市長 菊島 好孝



# 赤平市議会議員 北市 勲



明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお祝いとお慶びを申し上げます。

9月に発生した、北海道胆振東部地震では、今もなお、ご不便な生活をされている方もおり、被災されました皆様にも心よりお見舞いを申し上げますとともに、防災はもとより、減災対策の重要性を再認識したところでもあります。

現在、災害対策本部の中心的役割を担わなければならない、市役所庁舎の耐震化工事に加え、自家発電の整備も実施しております。また、安心・安全の拠点施設であります茂尻分団詰所の建替、炭鉱遺産の歴史を認識していただくためのガイダンス施設のオープン、市内唯一となった統合中学校の開校など、課題となっていた事項の推進に努めたところでございます。

特にガイダンス施設では、ツアー客の増加、各イベントによる集客効果も図られ、国内外からの見学も含めて6,500人を突破いたしました。今後とも、学術的価値を高めるとともに、教育体験旅行や観光資源として

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、ご壮健にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は多くの災害に見舞われた年でありました。6月の大阪府北部地震をはじめ西日本豪雨、激しい猛暑、度重なる台風襲来、北海道胆振東部地震とブラックアウト(全域停電)など数えきれ

ません。赤平市においては、夏場の日照不足などがありました。台風や北海道胆振東部地震においては幸いにも大きな被害はありませんでした。しかし、近年の自然災害は想定をはるかに超えるものが多く、今まで以上の防災体制の強化が必要であると感じております。

また、JR根室線問題につきましても、昨年中に存続に向けた結論が出るものと期待をしておりましたが、昨年12月に維持困難路線の財政支援はしないとの国の方針が出され、沿線自治体の費用負担についても結論はでませんでした。

一方、当市の課題である人口減少問題や地域活性化などの解決にむけた「赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略」事業の一つである、炭鉱遺産公園整備事

活用してまいります。

さらに、「炭鉄港」ストーリーに關係する自治体及び北海道との連携により、平成31年1月の日本遺産登録の申請に向けた業務を進めてまいります。

また、統合中学校では、防災拠点としての活用も想定した体育館棟、さらに、市民の皆様から永く愛され、ご活用いただける多目的利用も可能な造りとしたところでございます。

本年も、総合戦略に基づく施策を着実に推進するため、「市民力・産業力・行政力」の三つの力を発揮しながら、まちの魅力を高め、このまちに住み続けたい、移り住んでみたいと思っただけのようない地域づくりに向け邁進してまいります。

次世代を担う子どもたちの夢と希望を叶え、高齢者を含め市民誰もが安心して暮らせるよう、様々な課題解決とともに地域活性化のため、オール赤平で取り組んでまいりますので、市民の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、市民の皆様のご健勝とご多幸を、ご祈念申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

業の炭鉱遺産ガイダンス施設も完成し、多くの見学者が訪れ、「炭鉄港」ストーリーの一施設としての高い評価を得たことを喜んでおります。これからも多くの方々に見ていただき、社会教育の場として活用され、地域の活性化に結び付けなければならぬと思っております。

議会改革につきましましては、表決した議案に対する賛否の公開をいたしました。また、気軽に立ち寄れる「カフェ」議会や平成24年以来続けてきました「議会報告と意見交換会」を開催し、多くの市民と意見交換し地域が抱える課題、要望やご意見をお聴きし、住みよいまちづくりを目指し努力をしております。本年も、市民のニーズにこたえるべく「議会報告と意見交換会」を継続いたします。

また、市民の高齢化に伴う運転免許証返納者や買物弱者、通院弱者の地域交通対策の調査研究などを進めたいと思っております。市民の皆様にはこれまでと同様に、議会に対し、ご理解とご支援をお願いいたします。

結びに、市民皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。



# 2019年 新年の ごあいさつ

